

オリーブ健康館で受けられる健康チェック

① AGEs

身体の中に知らず知らず蓄積されている病気の原因物質（老化物質）の蓄積状況がわかります。



腕をのせて12秒

数値を確認

AGEsについて解説

AGEsって何？



脳内のタンパク質がAGE化（糖化）すると、その中にアミロイドβというタンパク質に変質するものが出てきます。立体構造に変質したアミロイドβは組織に沈着しやすく、老人班と呼ばれる班点をつくります。この班点が広がると神経細胞を死滅させ、アルツハイマー型の認知症を引き起こします。

2024年12月限定項目

② AICOG

東京大学が開発した健康診断の血液検査データから認知症のリスクを推定するシステムです。



必要なのは特定健康診断のデータのみ

データを入力するだけで判定可能

判定結果はすぐに確認できます

AICOGで使用する検査項目 ★店頭で入力します

生年月日・性別・身長・体重・BMI・血圧・白血球数(WBC)・赤血球数(RBC)・ヘマトクリット・ヘモグロビン・血小板数・AST・ALT・γ-GTP・中性脂肪(TG)・HDL-C・LDL-C・GLU・HbA1C・クレアチニン・尿酸・尿素窒素・総タンパク・アルブミン・A/G・Na・K・Cl・CRP

①②ともにオリーブ健康館で測定できます。ご予約はお電話で承ります♪

TEL:048-764-2567



アルツハイマー病の新しい治療薬

認知症の大半を占めるアルツハイマー病に対して、昨年夏アミロイドβ抗体薬としてアルツハイマー病の進行を遅らせるレカネマブが日本でも承認されました。また2024年9月ドナネマブが承認され、これで国内2例目となりました。アミロイドβ抗体薬の投与対象は、アルツハイマー病の患者さんのうち、認知症を発症する前の「軽度認知障害」の人や軽度の認知症の人となっています。

アルツハイマー病になった患者さんの脳には「アミロイドβ」と呼ばれる異常なたんぱく質がたまり、これによって神経細胞が壊れると考えられています。アミロイドβ抗体薬は、人工的に作った抗体を「アミロイドβ」に結合させることで取り除き、アルツハイマー病の進行を遅らせるとされています。

胃腸改善による脳の老化予防について

身体は一定の年齢に達すると、各器官特に脳組織・代謝などに退行性的変化がみられるようになりますが、中でも脳のアンチエイジングにおいて中医学では“精”と“脾胃”が重視されます。

これは“精”そのものの減少が脳の老化として考えられており、“精”は飲食物が“脾胃”の働きによって体内に取り込まれることによって生み出されていると考えられているからです。

また現代医学では、近年の研究で腸の微生物の乱れはアルツハイマー病と密接な関係があることが分かってきました。直近2024年11月には順天堂大学主導のもと同じ脳の病気であるパーキンソン病に対して「抗菌薬併用腸内細菌叢移植法の開発研究」が開始されると発表されました（詳細は順天堂大学のホームページ参照）。

2024年秋号の「加齢に伴うさまざまな生理機能の低下」でも解説しました通り、研究のアプローチは違えど、中医学と西洋医学には重なる点が多くあります。しかし、保険医療（西洋医学）ではどうしても補うことができないのが「体を丈夫にすること」「病気を予防すること」です。

胃腸症状は幅広く、「口渇、口内炎、口の中のネバつき、口臭、食欲不振、腹部膨満感、吐き気、ゲップ、胃下垂、胃もたれ、胃がチャポチャポする、胃の灼熱感、食欲が異常に強い、下痢、便秘、コロコロ便、泥状の便、脱肛」など、口から肛門まで様々あります。

胃腸の状態を保つことは、脳のアンチエイジングのみならず、脳の病気の予防、精神的安定にもつながることがわかってきた今、西洋医学にはない「胃腸を丈夫にする」を軸に対策を考えてみませんか？

